

教科	地理歴史	科目	世界史B・世界史演習①	学年	3
担当者	吉岡 大輔			単位数	6
使用教科書	山川出版社 詳説 世界史B				
使用教材	使用教材:グローバルワイド最新世界史図表 世界史B10分間テスト 世界史用語集 センター形式問題集 各国史 改訂版				
教科・科目の指導目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	オリエンテーション ヨーロッパ世界の成立 東ヨーロッパ世界の発展 西ヨーロッパ中世世界の変容 トルコ化とイスラーム化の進展 東アジア諸地域の自立化	1年間の学習内容と世界史の評価方法を理解することができる。キリスト教の拡大とローマカトリック教会の成長について理解させる。 ゲルマン民族大移動、フランク王国とローマカトリックの融合、フランク王国の分裂と神聖ローマ帝国の誕生について理解させる。 東ローマ帝国の全盛期・衰退期、スラブ人とアジア系の多民族について理解させる。 封建社会の成立、ローマカトリック教会の発展、十字軍の遠征、中世ヨーロッパ都市の成立について理解させる。教皇権の衰退、封建社会の崩壊、各国の中央集権化・各国王の権威の伸張について理解させる。 トルコ系民族の進出とフンド人、トルキスタン人のイスラーム化について理解させる。東アジアの勢力交替、中国北方の諸勢力、宋の統治、社会と経済、文化に	36
6月5月7月	1学期期末考査	モンゴル大帝国 イスラーム世界の発展 東アジア世界の動向 清代の中国と隣接諸地域トルコ・イラン世界の展開 ヨーロッパ世界の拡大 ルネサンス 重商主義と系も専制主義 ヨーロッパ諸国の海外進出 産業革命	モンゴル帝国の形成、元の東アジア支配、東西交流について理解させる。東方イスラーム世界、バグダードからカイロへ、西方イスラーム世界の変容、インド・東南アジア、14世紀の東アジア、明初の政治、明朝の朝貢世界、朝貢体制の動揺など16～17世紀の東アジアの状況について理解させる。ティムール朝、オスマン帝国ムサファヴィー朝の興隆、大航海時代、アメリカ大陸の征服、商業革命と価格革命、ルネサンスの本質、文芸と美術、科学と技術について理解させる。宗教改革の始まりと広がり、対抗宗教改革、主権国家の出現、市民革命、議会政治の確立、ルイ14世、北方戦争、ポーランド分割、植民地争奪、奴隷貿易と近代分業システムの形成について理解させる。 イギリス産業革命の背景と展開、産業資本主義の体制の確立とそのその影響について理解させる。	36
7月5月10月	2学期中間考査	アメリカ独立革命・フランス革命とナポレオン ウィーン体制の成立・ヨーロッパ再編と新統一国家の誕生 南北アメリカの発展 オスマン朝帝国支配の動揺と西アジア諸地域の動揺 南アジア・東南アジアの植民地化 東アジアの激動 世界分割と列強対立 アジア諸国の改革と民族運動	独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響、革命の経済的・思想的背景、ナポレオンの政策と革命の継承という点を理解させる。 自由主義とナショナリズムの運動、クリミア戦争以後の国際秩序の動揺と再編、国民国家の形成過程、露・普の皇帝主導の上からの近代化について理解させる。ラテンアメリカの独立、西アジアにおけるオスマン帝国支配の動揺と改革、アラブ諸民族の覚醒、イラン、アフガニスタンの動向を理解させる。 インドの植民地化とその社会の変貌、東南アジア諸国の植民地化の過程を理解させる。清朝の動揺と近代化改革、日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編、帝国主義の勃興と列強の競争、欧米列強による世界分割や植民地化をめぐる競争と、従属させられた地域社会の抵抗と変容、アジア諸国の改革と民族運動の形成を理解させる。	42
10月5月12月	2学期期末考査	第一次世界大戦 ロシア革命 ヴェルサイユ体制化の欧米諸国 アジア・アフリカ地域の民族運動 世界恐慌 ファシズム諸国の侵略 戦後世界秩序の形成 米ソの冷戦の激化 西欧・日本の経済復興 第三世界の台頭と米ソの歩み寄り	バルカン半島の危機、第一次世界大戦の勃発、戦時外交と総力戦、大戦の結果について理解させる。ロシア革命、ソヴィエト政権と戦時共産主義、ネップとソ連の成立について理解させる。ヴェルサイユ体制とロンドン体制、国際協理と軍縮の進展、両敵国間の緊張、東欧・バルカン諸国の動揺、ソ連の社会主義建設、アメリカ合衆国の繁栄について理解させる。日本の動きと東アジアの民族運動、国民党と共産党、インドの独立について理解させる。日本の動きと東アジアの民族運動、国民党と共産党、インドの独立について理解させる。 世界恐慌とその影響、ニューディールとブロック経済について理解させる。満州事変・日中戦争と中国の抵抗、ナチスドイツとヴェルサイユ体制の破壊、ファシズム諸国の攻勢と冷戦の始まり、東西ヨーロッパの分断、中国の成立と南北朝鮮、東南・南・西アジアの独立について理解させる。朝鮮戦争と軍拡競争の激化、アメリカ合衆国の「豊かな社会」について理解させる。朝鮮戦争と軍拡競争の激化、アメリカ合衆国の「豊かな社会」について理解させる。 西欧・日本の経済復興、ソ連の雪解けと平和共存政策について理解させる。第三世界の連携、アフリカ諸国の独立と苦闘、ラテンアメリカ諸国とキューバ革命、米ソ両大国の歩み寄りについて理解させる。	42
12月5月3月	学年末考査	第三世界の台頭と米ソの歩み寄り 石油危機と世界経済の再編 社会主義世界の変容とグローバル化 途上国の民主化と独裁政権の動揺 地域紛争の激化と深刻化する貧困現代文明の諸特徴	ヨーロッパでの緊張緩和、中ソ対立と中国の動揺、ベトナム戦争とインドシナ戦争、第三世界の開発独裁と南・東南アジアの自立化について理解させる。国際経済体制のいざばまりと途上国の発展、先進国の社会政策、金融危機について理解させる。 東欧の民主化、ソ連邦の解体、情報技術革命の進展と通商の自由化と地域統合の進展について理解させる。 途上国の民主化とアジア社会主義国家の変容について理解させる。 各地の地域紛争、アフリカの民主化と貧困・内戦、同時多発テロと対テロ戦争、紛争解決・軍縮の試み、科学技術の世紀について理解させる。	54

評価の観点・方法	ノート提出点・定期考査・授業態度
----------	------------------